

校長室だより

令和8年3月6日（金）
第 44 号
十日町市立中条中学校校長室

「3年生卒業おめでとう」卒業証書授与式、無事に終了しました

令和8年3月6日（金）晴天の中、十日町市立中条中学校第79回卒業証書授与式を挙行了たしました。44名の卒業生が無事に巣立っていきました。今回の校長室だよりでは「送辞」「答辞」の内容の一部を紹介いたします。

送辞

中条中学校を卒業される44名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今思い返すと、先輩方と過ごした学校生活の日々は、数多くの思い出ができました。

その中でも特に思い出深い行事は、皆さんと喜びを共有し、距離を縮めることのできた体育祭です。焔神・青嶺の両チームで「passion～今しかできない青春を～」のスローガンの下、熱い戦いを繰り広げ、笑顔あふれる体育祭を創り上げました。

両チーム、学年の垣根を越え、団結して勝利を目指すことができたのは、リーダーとして先頭に立ち、手本となってくださった皆さんのおかげです。その背中には私たちに「追いかけてい」と思わせるようなとても大きな背中でした。全力で応援することや競技に本気で挑む姿、主体的かつ迅速な実行力や、チームを盛り上げる姿は、私たちの憧れでした。

そして、大きな行事だけでなく日常生活では、生徒会や委員会、部活動などでリーダーとして私たちを引っ張ってくださいました。優しく教えてくださったり、いつも温かく語りかけてくださったりと、先輩方と共に過ごした時間のすべてが私たちのかけがえのない財産です。その教えや築いてきた思い出は、一生忘れることのできない宝物です。

私たちは3年生のこのようなご活躍を思うと、その後を引き継ぐことに不安を感じていますが、それ以上に決意を新たにしております。皆さんが大切に守ってきてくださった「あせまみれ運動」や、「高志ヶ丘の精神」などの伝統にさらに磨きをかけ、皆さんが誇れるような、よりよい中条中学校を創るため、全校生徒一丸となって精一杯努力していきます。

3年前、希望と不安の入りまじった気持ちと共に校門をくぐった入学式を初めとして、仲間と共に喜び、ときには涙を流した日々もあったと思います。44人が巡り合い、名前を呼び合い、こうして過ごしてきたこと。はじめて、その人の名前を呼んだことを覚えている人はいないでしょう。しかし、そこには少しの不安や緊張があったはずです。今は名前を呼べば、当たり前のように振り返ってくれる人がいます。それはとても幸せなことだと思います。そのようなかけがえのない関係を築き、仲間と出会い3年間を過ごしたことを大切にしてほしいと思います。そして、これからそれぞれが進まれる道において、新たに名前を呼び合える友と出会い、希望に満ちた未来を歩まれることを心から願っております。

在校生代表



答辞

本日ここに、我々卒業生のため、この上なく厳粛かつ盛大な卒業式を挙げていただきましたことに対し、卒業生一同、謹んで御礼申し上げます。また、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様をはじめ、先生方、保護者の皆様、ならびに在校生の皆さんに対し、心より厚く御礼申し上げます。皆さまからいただいた数々のお祝いや激励のお言葉を胸に、私たち44名は卒業いたします。

思い返すと、着慣れない、真新しい制服に身を包んで中条中学校の校門をくぐったあの日から、はや3年の月日が流れました。時の流れは決して立ち止まることなく、私たちが出会えた喜びも、別れの寂しさも、静かに私たちに教えてくれました。しかし、それでも、この3年間に刻まれた思い出の数は、決して尽きることはありません。友と交わした何気ない会話。毎日の授業。仲間と讚え合ってやりきった部活動。移動教室、登下校、給食、休み時間。そして何より濃く、確かな「団結」を刻んだ学校行事。その一つ一つが、かけがえのない青春の1ページです。



長期に渡る準備期間を経て、各リーダーを中心に「焔神」、「青嶺」が情熱を燃やし、ぶつかり合った体育祭。体育祭スローガン PASSIOON の下、はじける笑顔と空を突き抜ける応援の声、競技の勝敗に一喜一憂しました。また、地域交流種目を通して、PTAや地域の皆様と心をつなげる喜びを知りました。そこには、学校と地域との強い絆が確かにありました。

学級・学年それぞれの個性を表現して、段十ろうに歌声を響かせた合唱コンクール。納得のいく合唱にするために、何度も練習しました。心を合わせて、歌声を合わせていくうちに、恥ずかしさなんていつのまにかどこかへいってしまっていました。保護者の皆様の下にも、確かに届けられたと思っています。

44人と学年部の先生方で創り上げた修学旅行。計画の段階で困難はありましたが、その分当日は最上級の思い出となり、今も鮮やかに心に残っています。

数えきれない思い出に彩られた私たちの3年間は、人生の中で最も眩しく永遠に色褪せることのない最高の中学校生活でした。

在校生の皆さん、これまで3年生についてきてくれてありがとうございました。これからは皆さんが中条中学校を引っ張る番です。迷ったときは一人で抱え込まず、家族や友達、先生を頼ってください。仲間とともに、全力で楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。

地域の皆様、様々な立場から私たち生徒の安全を守ってくださり、ありがとうございました。私たちはそんな地域の方々への感謝を忘れず、いつかは私たちが支える立場となっても皆様のように生徒の安全を守れる地域の一員でありたいと思います。

1日も欠かさずそばで支えてくれた家族。くじけそうな夜には灯りのように、立ち止まりそうなときには背中を押してくれる風のように、いつもそっと寄り添い、味方でいてくれました。素直になれず、迷惑ばかりかけてしまったこの年頃。それでも変わらず包み込んでくれたこと、心から感謝しています。これからも、私たちの一番近くで、変わらない愛で支えてくれたらうれしいです。

そして、今日まで3年間を共に歩んだ仲間たちへ。今、みんなの胸にはどんな思いがありますか。私は、別れがあり、とても悲しいです。本当は、今日まで支え合い、手を取り合っただけ歩んできた仲間たち一人一人と時間をつくって感謝を述べたいですが、この場で全員に感謝します。3年間、同じ学年の仲間として一緒に困難を乗り越え、心ひとつに、今日まで歩んでくれてありがとう。4月からは、新しい環境となり、寂しさを覚えることもあるだろうけど、同じ空の下、どこかで僕たちは繋がっていると信じて、新たな場所でも思い出をいっぱいつくって、再会した時に思い出を語り合えるのを楽しみにしています。大好きな皆、本当にありがとう。

私たちは、この中学校3年間で得た学びと経験を胸に刻み、新たな地においても志を高く持ち歩み続けることを誓います。そして、ここ中条の地に息づく伝統と歴史が、これからもますます発展していくことを心よりお祈り申し上げ、答辞といたします。

卒業生代表